

# 授業デザイン FIRST STEP Vol.2

## —小学校理科「問題解決の過程に沿った発問、言葉掛け」編（観察・実験の後）—



### 1 問題解決の力を育成するための発問、言葉掛けで大事なことは何？

「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 理科編」では、育成を目指す資質・能力が3つの柱で整理されています。そのうち(2)思考力、判断力、表現力等について、小学校理科では、

(2)観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。 と示されています。

この「問題解決の力」は、児童の問題解決の過程の中で育成されます。そのため、問題解決の過程のどのような場面で、どのような児童の姿を目指すために、どのような発問、言葉掛けを行うのかを考える必要があります。具体的な発問、言葉掛けの例を次に示します。



### 2 問題解決の過程に沿った具体的な発問、言葉掛けの例(第4学年「雨水の行方と地面の様子」の例)

問題解決の過程	場面	目指す児童の姿	発問、言葉掛けの例
観察・実験の実施		観察・実験の前は 授業デザイン FIRST STEP Vol.1 を御覧ください。	
結果の処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験の結果を整理する場面</li> <li>整理した実験の結果と予想や仮説を照らし合わせて何がいえるのかを考える場面</li> </ul>	実験の結果と予想や仮説との一致、不一致を踏まえ、より妥当な考えをつくりだすことができる。	◎どのような結果になりましたか？ ◎実験の結果と予想や仮説は、同じでしたか？違いましたか？ ◎実験の結果と予想や仮説を比べると、どのようなことがいえますか？
考察	<予想や仮説>  <実験の結果> 	一致 予想していたことと、同じ結果になったな。ということは… 不一致 予想していたことと、違う結果になったな。ということは…	
結論の導出	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習をまとめて、次時の学習へつなぐ場面</li> </ul> <解決したことをまとめる> 	問題解決の過程を振り返り、学習内容をまとめることができる。また、まとめたことで新たな問題を見いだすことができる。	◎今日の学習で問題は解決しましたか？ ◎解決したこと、まだ解決していないことを区別して整理しましょう。 ◎次の時間に解決したいことはありますか？

角屋重樹 ベネッセ『VIEW21』教育委員会版 2017年度 Vol.3 を基に作成

単元の指導と評価の計画の立て方については、  
 国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」や  
 佐賀県教育センターWeb「[単元デザイン FIRST STEP](#)」を御参照ください。

